

福001	項 目 名	地域介護・福祉空間整備等交付金	新規事業	○
------	-------	-----------------	------	---

予算書項目	社会福祉施設整備等補助金	ページ	29
-------	--------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)

補正前額	0
------	---

要求額	33,348
-----	--------

総務部長段階査定額	33,348
-----------	--------

市長段階査定額	33,348
---------	--------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	33,348
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	33,348

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】賦課・徴収係 0857-20-3452
【9次総の施策体系】3201
【事業の経過及び背景】 消費税率引上げによる駆け込み需要とその反動減の緩和等を目的に、国は経済対策に伴う平成25年度補正予算を編成した。この中で「地域包括ケアシステムの構築に向けた体制整備」及び「社会福祉施設の防災対策等」の推進予算が計上されており、本市も国の施策を積極的に活用して本市の介護基盤整備を推進する。（国の予算は平成26年度に繰越して執行するよう措置されている）
【事業の目的及び効果】 第5期鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画に位置付けた介護基盤の整備を推進するため、計画に位置付けた介護施設を新設又は防災対策等を行う事業者に対して助成（財源：国10／10）を行い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう介護基盤の充実強化を図る。
【事業の内容】 1 施設整備助成 [認知症高齢者グループホーム（新設）] 30,900千円×1施設＝30,900千円（助成上限：助成率10／10） 2 既存施設スプリンクラー整備助成 [有料老人ホーム] 9千円×1施設×延べ床面積272㎡＝2,448千円（助成上限：助成率10／10）

福002	項 目 名	介護基盤緊急整備事業補助金	新規事業
------	-------	---------------	------

予算書項目	社会福祉施設整備等補助金	ページ	29
-------	--------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)

補正前額	33,400
------	--------

要求額	△ 13,780
-----	----------

総務部長段階査定額	△ 13,780
-----------	----------

市長段階査定額	△ 13,780
---------	----------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	△ 13,780
地方債	0
その他	0
一般財源	0
計	△ 13,780

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】 賦課・徴収係 0857-20-3452
【9次総の施策体系】 3201
【事業の経過及び背景】
国においては平成24年度経済危機対応・地域活性化予備費を使用し、平成21年度以降の国の経済対策に伴い都道府県に設置された「介護基盤緊急整備等臨時特例基金」と「介護職員処遇改善等臨時特例基金」に積み増しを行った。鳥取県においては他の都道府県と同様に、この積み増しされた基金を活用して平成25年度から2年間、介護基盤の緊急整備事業を実施することとしている。
【事業の目的及び効果】
県の補助事業を積極的に活用し、本市の第5期介護保険事業計画・高齢者福祉計画に沿って介護施設を新設又は防災対策等を行う事業者に対して助成（財源：県補助10/10）を行い、介護基盤の充実・強化を通じて利用者の安全・安心を確保する。
【事業の内容】
1 施設新設助成の活用財源を、県の介護基盤緊急整備事業補助金（助成率10/10）から国の地域介護・福祉空間整備等交付金（助成率10/10）に変更。
〔認知症高齢者グループホーム（新設）〕
15,000千円×1施設＝15,000千円
2 県の補助単価の改正を受けて防災改修支援の補助単価を増額。
〔認知症高齢者グループホーム等防災改修支援事業（既存）〕
補助単価 6,500千円/施設 → 7,110千円/施設
（補正後）19,620千円－（補正前）33,400千円 （補正額）△13,780千円
<補正後事業費>
1 新規開設経費助成
〔認知症高齢者グループホーム（新設）〕
600千円×定員9人×1施設＝5,400千円（助成上限：助成率10/10）
2 認知症高齢者グループホーム等防災改修支援事業
〔認知症高齢者グループホーム（既設）〕
7,110千円×2施設＝14,220千円（助成上限：助成率10/10）

--

福003	項 目 名	社会福祉施設改修事業費	新規事業
------	-------	-------------	------

予算書項目	社会福祉施設整備費	ページ	29
-------	-----------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)	
補正前額	2,766

要求額	14,677
-----	--------

総務部長段階査定額	9,042
-----------	-------

市長段階査定額	9,042
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	9,042
計	9,042

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【事業の経過及び背景】
指定管理施設の設備が老朽化し、利用者に不便を生じさせている。

【事業の目的及び効果】
老朽化した施設の改修などを行い、利用者が施設を快適に使えるよう環境整備する。

【事業の内容】
○指定管理施設修繕
福部砂丘温泉ふれあい会館（平成7年開設） 4,342千円
（内容）・外壁タイルの修繕（剥離部分等の部分修繕）
・男女浴槽内目地止め

福部ほっとスイミングプール（平成6年開設） 4,000千円
（内容）・プール槽塗装の塗り替え（前回はH15に塗り替え）
・プール槽内や周囲のプレート交換

青谷高齢者生活福祉センター（平成7年開設） 700千円
（内容）・電話交換機更新

福004	項 目 名	老人福祉センター運営費	新規事業
------	-------	-------------	------

予算書項目	老人福祉センター運営費	ページ	29
-------	-------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)

補正前額	8,606
------	-------

要求額	26
-----	----

総務部長段階査定額	26
-----------	----

市長段階査定額	26
---------	----

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	26
計	26

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451

【9次総の施策体系】3201

【事業の経過及び背景】

地域福祉活動推進に関する事業を行う市社会福祉協議会の運営及び事業の活性化を図り本市の地域福祉の向上を図る。

【事業の目的及び効果】

市内に在住の高齢者の憩いの場として、趣味、教養講座及び教室、レクリエーション等を行い、健康で、明るく楽しい老後を過ごしていただく。

【事業の内容】

佐治・鹿野老人福祉センター（平成18年度から指定管理者へ移行）の施設管理

○事業の内容

佐治老人福祉センター LEDリース導入 26千円

財産経営課一括発注 1～3月分

直管蛍光灯 59本分

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

福005	項 目 名	超高齢者生活実態調査事業費	新規事業	○
------	-------	---------------	------	---

予算書項目	超高齢者生活実態調査事業費	ページ	29
-------	---------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)

補正前額	0
------	---

要求額	1,090
-----	-------

総務部長段階査定額	1,090
-----------	-------

市長段階査定額	1,090
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,090
一般財源	0
計	1,090

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	1,090
その他	0

行財政改革課処理欄	
-----------	--

事業の概要
【問合せ先】高齢者福祉係 0857-20-3453 【9次総の施策体系】3201 【事業の経過及び背景】 本市が参加する、「百歳バンザイ！！推進市町村連絡協議会」（事務局：京丹後市）において、参加市町村が実施することとなった超高齢者実態調査を行う。 【事業の目的及び効果】 百寿者及び90才以上の超高齢者を対象に、健康長寿の要因について調査を行い、健康長寿達成の要因を把握し、職員への研修、市民への広報等を通じて、市の介護予防施策に活用する。 【事業の内容】 大阪大学の協力のもと、百寿者等に身体面や幸福感などの心理面の特徴や、健康で長生きするための食生活の状況、現在や過去の生活習慣などをアンケート及び訪問調査等により分析する。 ○アンケート調査、パンフレット作成費 651千円 ○調査結果集計・分析、講習会の開催費 439千円（大阪大学に委託） ○調査対象：市内在住の百寿者及び90才以上の超高齢者 約300人 【その他】 財源は、「平成26年度長寿社会づくりソフト事業費交付金（特定事業）」を活用する。

福006	項 目 名	地域総合整備資金貸付事業費	新規事業	○
------	-------	---------------	------	---

予算書項目	地域総合整備資金貸付事業費	ページ	31
-------	---------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	老人福祉費

(単位:千円)

補正前額	0
------	---

要求額	140,000
-----	---------

総務部長段階査定額	140,000
-----------	---------

市長段階査定額	140,000
---------	---------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	140,000
その他	0
一般財源	0
計	140,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】高齢者企画係 0857-20-3451
【9次総の政策体系】3201
【事業の経過及び背景】
鳥取市介護保険事業計画・高齢者福祉計画に基づき養護老人ホームの増床整備を進めており、本事業について支援することとしている。
【事業の目的及び効果】
本件整備により地域福祉の充実が図られるとともに、新たな雇用（50人）による地域振興効果も見込まれるため、法人施設整備費の財源として当資金を貸し付け、運営を支援する。
【事業の内容】
（福）賛幸会が整備を計画している「特別養護老人ホーム のでら はまゆう」新築事業費の一部として貸付を行う。
貸付の概要
①貸付金の額 140,000千円
②貸付内容等 地方債を原資として事業者へ無利子融資
元利均等（15年償還）
貸付・徴収に係る事務は地域総合整備財団に委託
施設整備の概要
建設場所 鳥取市野寺67
建設概要 特別養護老人ホーム のでら はまゆう 新築事業
鉄筋コンクリート造・地上4階建
（特養：70床、短期入所生活介護、訪問介護ステーションなど）
工 期 着 工：平成25年12月～平成26年9月末
総事業費：784,000千円
財 源 当該資金 140,000千円
県補助金 139,000千円
民間金融機関借入 260,000千円
自己資金 245,000千円

福007	項 目 名	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	新規事業
------	-------	---------------------	------

予算書項目	避難行動要支援者支援制度普及促進事業費	ページ	29
-------	---------------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)

補正前額	1,267
------	-------

要求額	454
-----	-----

総務部長段階査定額	454
-----------	-----

市長段階査定額	454
---------	-----

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	454
計	454

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474
【9次総の施策体系】3201
【事業の経過及び背景】 災害対策基本法の改正に伴い、市町村で避難行動要支援者名簿の作成が義務付けられた。本市ではすでに名簿の作成を行っているが、この名簿に「要介護認定3～5」の対象者を追加する必要がある。そのために現在の避難行動要支援者台帳システムの改修が必要となった。
【事業の目的及び効果】 地震や洪水などの災害時において、障がいのある方、高齢者などの避難行動要支援者が、地域の共助により支援を受け避難できることを目的とする。
【事業の内容】 避難行動要支援者台帳システム改修経費 454千円

福008	項 目 名	全国障がい者芸術・文化祭開催事業費	新規事業	○
------	-------	-------------------	------	---

予算書項目	全国障がい者芸術・文化祭開催事業費	ページ	29
-------	-------------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	社会福祉総務費

(単位:千円)

補正前額	716
------	-----

要求額	1,913
-----	-------

総務部長段階査定額	1,913
-----------	-------

市長段階査定額	1,913
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	1,434
地方債	0
その他	0
一般財源	479
計	1,913

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474

【9次総の施策体系】3201

【事業の経過及び背景】

第14回全国障がい者芸術・文化祭が平成26年7月12日～11月3日に、とりぎん文化会館・鳥取県立博物館ほか県内各地で開催される。この大会の開催に合わせて、障がい者の芸術活動への発表の機会を設けるための展示会の開催、障がい者アート活動を支援するために補助を行う。

【事業の目的及び効果】

全ての障がい者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障がい者の生活を豊かにするとともに、国民及び県民の障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。

【事業の内容】（県3/4 市1/4）

○作品展示会の開催経費

市の施設（中央図書館、かわはら道の駅、あおや郷土館）で障がい者の作品を展示。
委託料 563千円

○障がい者アート活動支援補助金

補助先 ウマモナド委員会（関係機関及び鹿野町民有志による団体）

補助金 1,350千円

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

福009	項 目 名	身体障がい者福祉行政事務費	新規 事業
------	-------	---------------	----------

予算書項目	事務費	ページ	29
-------	-----	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	身体障がい者福祉費

(単位:千円)

補正前額	6,803
------	-------

要求額	2,013
-----	-------

総務部長段階査定額	1,328
-----------	-------

市長段階査定額	1,328
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,328
計	1,328

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】障がい者福祉係 0857-20-3474
【9次総の施策体系】3201
【事業の経過及び背景】 障がいのある方への必要な配慮などを理解するために職員を対象とした「あいサポーター研修」及び「手話研修」を実施する。 鳥取市障害者福祉センター（さわやか会館）のパソコン教室で利用しているパソコンは平成13年の開設時から利用しており老朽化しているため更新を行う。
【事業の目的及び効果】 職員が多様な障がいの特性を理解することにより、障がいのある者に温かく接するとともに障がいのある者が困っている時に手助けを行うことにより共生社会の実現につながる。 さわやか会館で行っているパソコン教室を受講することにより障がいのある方の日常生活上の支援につながる。
【事業の内容】 ○あいサポーター研修及び手話研修 6回開催予定 講師謝金 @50,000円×6回 ○さわやか会館パソコン購入経費 @118,920円×8台

福010	項 目 名	障害者自立支援法施行事務費	新規事業
------	-------	---------------	------

予算書項目	障害者自立支援法施行事務費	ページ	31
-------	---------------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)

補正前額	5,114
------	-------

要求額	1,944
-----	-------

総務部長段階査定額	1,750
-----------	-------

市長段階査定額	1,750
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,750
計	1,750

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475
【9次総の施策体系】3201
【事業の経過及び背景】 平成26年4月1日より障害児通所支援サービスの児童発達支援、医療型児童発達支援、保育所等訪問支援に係る利用者負担を兄または姉が保育所に通園していることを要件として軽減される。この制度導入に伴いシステム改修が必要となる。
【事業の目的及び効果】 システム改修を行うことにより、該当する利用者の世帯について、利用者負担の軽減額が計算されることになり事務の迅速化につながる。
【事業の内容】 障害者総合支援法対応システム改修経費 1,750千円

福011	項 目 名	コミュニケーション支援事業費	新規事業
------	-------	----------------	------

予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	31
-------	-----------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)

補正前額	18,090
------	--------

要求額	1,951
-----	-------

総務部長段階査定額	1,951
-----------	-------

市長段階査定額	1,951
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	1,462
地方債	0
その他	0
一般財源	489
計	1,951

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】自立支援係 0857-20-3475
【9次総の施策体系】3201
【事業の経過及び背景】 年度当初さわやか会館に手話通訳者1名の配置を予定していたが、市ろうあ協会など関係団体より、増員の要請があり、また、手話講座などへの講師として派遣する機会を増やし、手話の普及に努めていく必要もあることから1名増員する。
【事業の目的及び効果】 障がいのある方がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、必要な援助を行うことを目的とする。
【事業の内容】(国1/2 県1/4 市1/4) 市社会福祉協議会に委託して、さわやか会館に手話通訳者を配置し、来館する聴覚障がい者への対応及び市をはじめとする行政機関での手続き等、聴覚障がい者の便宜を図るとともに、聴覚障がい者の生活相談や通院など緊急時の対応を行う。 ○委託料 1,951千円 ○委託内容 手話通訳者1名分の人件費 ○委託先 市社会福祉協議会

福012	項 目 名	特別支援事業費	新規事業
------	-------	---------	------

予算書項目	地域生活支援事業費	ページ	31
-------	-----------	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	社会福祉費
目	障害者自立支援事業費

(単位:千円)	
補正前額	6,608

要求額	150
-----	-----

総務部長段階査定額	150
-----------	-----

市長段階査定額	150
---------	-----

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	112
地方債	0
その他	0
一般財源	38
計	150

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】	障がい者福祉係 0857-20-3474
【9次総の施策体系】	3201
【事業の経過及び背景】	第11回日本聴覚障害者陸上選手権大会が、本年7月に鳥取市で開催されることが決定したため、開催地として本大会の運営を支援する。
【事業の目的及び効果】	本大会は聴覚障がい者の陸上競技の普及と競技力向上を目指して、平成16年から開催されている。本年は鳥取市で開催され、本大会をとおして聴覚障がい者との交流促進と障がいに対する理解を深めることができる。
【事業の内容】	(国1/2 県1/4 市1/4) ○開催日程 平成26年7月19日(土) ○会場 コカ・コーラウエストパーク陸上競技場(鳥取県立布勢総合運動公園) ○競技種目 男子・女子 19種目 ○参加者 約200人(選手、役員、手話通訳、補助員) ○補助金 150千円 ○補助先 鳥取県障がい者陸上競技協会

福013	項 目 名	生活保護事務費	新規事業
------	-------	---------	------

予算書項目	事務費	ページ	35
-------	-----	-----	----

年度	H26
----	-----

会計名	
一般会計	
款	民生費
項	生活保護費
目	生活保護総務費

(単位:千円)	
補正前額	12,724

要求額	6,190
-----	-------

総務部長段階査定額	5,989
-----------	-------

市長段階査定額	5,989
---------	-------

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	2,464
地方債	0
その他	0
一般財源	3,525
計	5,989

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】生活支援係 0857-20-3476
【9次総の施策体系】3202
【事業の経過及び背景】 職員増に伴い、端末機器の増設を行う。併せて社会保障・税番号制度及び就労自立給付金制度への対応のため、生活保護システムの改修を行う。
【事業の目的及び効果】 生活保護事務を遂行するうえで必要な事務費を計上する。
【事業の内容】 生活保護システムについて、次のとおりプログラム改修等を行う必要があるため。 (1) 職員増に伴うシステム端末機器の増設(4台分: CW・2、SV・2)及び同機器のセットアップ作業 <OA関係委託費及びOA機器借上料として589千円> (2) 社会保障・税番号制度導入に伴うプログラム改修(補助対象事業 2/3) <OA関係委託費として4,536千円> (3) 就労自立給付金制度※の創設に伴うプログラム改修(補助対象事業 10/10) <OA関係委託費として864千円> ※就労自立給付金制度－生活保護法改正により、本年7月1日から新たに創設される制度。生活保護を脱却するためのインセンティブ強化と脱却直後の不安定な生活を支援する目的で、保護受給中の就労収入のうち、収入認定された金額の範囲内で一定額を仮想的に積み立て、安定就労の機会を得て、保護廃止に至った時に一括で支給(上限額 単身世帯:10万円、多人数世帯:15万円)する制度(再受給までの期間は原則3年間)